

## 第9回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年10月22日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和2年10月22日（木）午前10時43分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
1 番 永徳 省二君      3 番 佐藤 武君      7 番 大口 浩志君  
1 2 番 北川 勝義君      1 6 番 下山 哲司君      1 7 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
総合政策部長 安田 良一君      総務部長 塩見 誠君  
財務部長 藤原 義昭君      教育次長 有馬 唯常君  
消防長 井元 官史君      政策推進課長 花谷 晋一君  
総務課長 小坂 憲広君      暮らし安全課長 岡本 和典君  
財政課長 和田美紀子君      管財課長 戸川 邦彦君  
税務課長 光田 尚人君      教育総務課長 金島 正樹君  
学校教育課長 家森 康彰君      社会教育課長兼  
スポーツ振興課長 西崎 雅彦君  
消防総務課長 檜原 秀幸君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君      主 事 松尾 康平君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について  
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（佐藤 武君） おはようございます。

ただいまから第9回総務文教常任委員会を開会いたします。

いつものとおり、出入口については開放したまま進めさせていただきますので、御了承ください。

それから、協議事項に入る前に、塩見部長の発言の申出がありますので許可します。

塩見部長。

○総務部長（塩見 誠君） おはようございます。

まず冒頭、昨日の市役所に対する爆破予告についての御報告をさせていただきます。

今週の月曜日、10月19日の月曜日に、委員の皆様にはお知らせをさせていただいておりますが、昨日市役所襲撃等につきましたの件でございます。

これにつきましては、警察の御協力の下、関係施設の警備をしておりましたが、幸い何事もなく経過をいたしました。委員の皆様には御迷惑や御心配をおかけいたしました。御協力ありがとうございました。今後につきましても、引き続き不審者、不審物につきましては注意を徹底した中で業務を遂行したいと思います。

報告については以上になります。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入りますので、よろしくをお願いします。

1番目として、事業の進捗状況について執行部から説明をお願いします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） それでは、総合政策部資料を御準備ください。

政策推進課より(1)日常生活における移動に関する山陽地域のアンケート調査について御報告申し上げます。

資料は1ページを御覧ください。

令和2年4月1日から赤磐循環バス廃止に伴いまして、市民バスの路線やダイヤ編成などの再編を検討するための基礎資料として、通勤、通学、買物、通院に重点を置きまして、山陽地域の移動の実態を調査いたしました。アンケートの結果を少しお時間いただきまして御説明申し上げます。

1ページの資料、2、実施期間は5月末から区、町内会を通じて配布いたしまして、5月末から6月の中旬で調査を行いました。配布数につきましては、山陽地域全世帯に当たります9,293世帯に配布し、回収数は2,574世帯、回収率は27.7%でした。

続きまして、3ページを御覧ください。

アンケートの回答世帯は、右上のグラフから70歳以上のみの世帯が約3割となっております。

す。また、左上のグラフから世帯の人数は1人または2人の世帯が過半数を占めておられます。

5ページを御覧ください。

回答者の状況につきまして、自動車免許の保有については、右上のグラフにありますとおり、保有率は8割弱となっております。自分で自由に使える車があるかどうかということになりますと、免許保有者より1割減り、約7割の方が持っておられ、車で移動する方が多いという調査結果となっております。

6ページを御覧ください。

左側の棒グラフは、居住地ごとに免許を持っている方の割合がどれくらいかを示したものになります。左から順番に、免許を持っている方、水色が免許を持っていない方、その次が免許を返納した方の割合となっております。山陽6丁目、山陽7丁目は免許を持っておられない方が約4割おられまして、他の地域と比べると免許をお持ちでない方が少し多いという結果となっております。

8ページを御覧ください。

これは、アンケート調査票で皆さんの御自宅の最寄りのバス停はどこですかというのを伺い、それについて丸をつけてくださったものを集計したものになります。それぞれの路線の上にございます小さな白い丸がバス停になります。その外側にある半透明のオレンジ色の丸が最寄りのバス停がここですとお示しされた人数です。その中で、実際にバスを利用されている方を示しているのが赤い丸となります。これを見ていただきますと、山陽地域や桜が丘はもともとの人数も多いですし、実際バスを利用している方も多いということになっております。

10ページを御覧ください。

買物や通院、それぞれ一体どれくらいの時間帯に、どの場所へ、何の手段で行っているかを調査したものになります。

買物につきましては、上のグラフが行き先の順位となっております。マルナカ山陽店が7割、イズミが5割強と、このようなところが買物先として上がってまいります。

買物する時間帯は、半数の方が不規則となっておりますが、規則的に行っている方も4割おられます。この規則的な時間に買物をされる方に時間を聞いてみますと、真ん中にありますように、この表の見方でございますが、縦軸が家を出る時間、横軸が家に帰る時間となっております。人数が多いあたりを赤く塗っております。一番多いのは、家を出るのが10時台、家に帰るのが11時台ということになっております。その前後の色の濃いところを見ますと、大体9時から12時、お昼過ぎて13時ぐらいまでの間に買物に出かけて帰ってくるといった午前中の需要が多いことが見てとれます。

右下のグラフは、どのような手段で行っているかというものでございまして、自分で運転して行かれる方が7割でした。今のところ、バスは3.4%、タクシーは0.8%といった状況でござ

いました。

11ページを見ていただきますと、行き先で多いところを地図の上に黄色い丸で描いております。このように、市役所周辺に集まっていることが見てとれます。

同じ質問を、通院についてしたものが、少しページが飛びまして15ページになります。

行き先で一番多いのが、赤磐医師会病院、次いでふよう内科クリニックと続きます。

時間帯は、買物よりも1時間程度早く、8時ぐらいから出かけられまして、11時、12時のあたりに大体帰っておられるという形になっております。買物と時間帯がほぼ重なっておりますが、全体的に1時間ぐらい早く出かけられるというような傾向が読み取れます。

行き先は、16ページの地図を御覧いただきますと、山陽団地から桜が丘にかけて楕円を描いたあたりに多く集中している状況が見てとれるということになっております。

買物や通院以外で外出の機会を確保するために、趣味や習い事の外出について調査し、21ページをお開きいただきましたら、21ページにまとめております。

外出の時間帯は、お昼前と15時ぐらいの2か所にピークがございます。

行き先は22ページを御覧いただきますと、先ほどの通院と同じく、中心部から桜が丘にかけて楕円状に囲んだエリアの中に主な行き先がございます。

車では行くことができますが、バスでは行けないところがあるかどうかということで、バスの利用者にニーズを細かく分析したものが、23ページになります。

真ん中の棒グラフがバスの利用者の買物の行き先です。回答者全体の行き先は、8割ぐらいの方は車で行っておられますので、ほぼ車の方の意見に引っ張られております。回答者全体ではマルナカ山陽店が一番多いですが、バスで行かれる方はゆめタウンが最も多く、行き先の1位と2位が逆転していることが見てとれます。

通院に当てはめますと、その結果は27ページをお開きいただきますと、そこへ載せております。

左側の表がバスの利用者、右側が回答者全体となっております。いずれも1位は赤磐医師会病院ですが、2位が、回答者全体ではふよう内科クリニックとなっております。バスでいいますとふよう内科クリニックは上位に入っておりませず、岡山市内の病院が上位に上がってまいります。このように、通院先は利用の交通手段によって大きく変わってまいります。

アンケートから読み取れたのは、こういった状況でございます。

9月28日に公共交通会議を開催いたしまして、このアンケート結果を情報共有させていただきました。

今後は、この結果を基にまずは路線調整や素案の作成を進めております。その後、地域公共交通会議におきまして、市民バスの路線やダイヤ編成など再編の検討をいただきまして、本年度中には方針を決定する見込みとなっております。

アンケート結果の報告は以上です。

以上で総合政策部の報告を終わります。

○総務部長（塩見 誠君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 塩見部長。

○総務部長（塩見 誠君） 続きまして、総務部の関連でございますが、9月の委員会におきまして、緊急告知ラジオの配布につきまして説明不足で御迷惑をおかけいたしまして申し訳ございませんでした。

本日、担当より再度説明をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） それでは、緊急告知ラジオの配布について御説明をさせていただきます。

まず前回、9月の委員会で御指摘等いただきました1点目につきましては、保証期間が1年ということで、これではちょっと短いんじゃないかという御意見がございました。これを受けまして、再度ラジオのメーカーと交渉させていただきました。その結果、2年間の保証をさせていただきますという回答を得ております。保証期間2年ということになりました。

もう1点、6月議会中の当委員会におきまして販売ということで御説明をしておりましたが、その委員会の中で、転売防止の対策が必要ではないかという御意見をいただきましたので、担当課で協議をさせていただきます。対策として販売ということから貸与、貸出しという形態に変更をさせていただいております。

総務部資料の1ページを御覧ください。

緊急告知ラジオの配布について、12月1日より緊急告知ラジオの貸出予約を開始させていただきます。緊急告知ラジオは、電源が切れていても自動起動しまして、赤磐市からの避難情報などを受信するものでございます。ふだんは一般のAM、FMラジオとしてお使いいただけます。申込方法は、12月1日から12月15日までの間に電話、はがきまたは赤磐市のホームページから申込みをしていただくようになります。今回の申込みに限っては1世帯1台までと限定させていただきます。200台を予定しておりますので、200台を超える申込みがあった場合には、抽せんとさせていただきます。当せんされた方には当せんの結果と申請書をお送りいたしますので、申請書に必要事項を記入していただき、赤磐市内に住所を有することが確認できるものの写しと販売代金（後刻訂正）2,000円を添えて提出をしていただきましてラジオを受け取っていただくという流れとさせていただきます。貸出しの金額につきましては、1台当たり2,000円ということとさせていただきます。

今回の、この12月の申込みで200台が全て出払わず在庫が生じた場合には、それ以降、随時申請書と代金の引換えにより配布をさせていただきます。これ以後の台数の制限は設けないということとさせていただきます。

ごめんなさい、販売と申し上げましたが貸出金額です。申し訳ありません。貸出金額については2,000円ということにさせていただいております。

総務部からの説明は以上です。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 教育委員会資料の1ページを御覧ください。

赤磐市立小中学校修学旅行について説明をさせていただきます。

今年度、新型コロナウイルスの状況を踏まえて、小中学校では、修学旅行の時期、また行き先について再検討を行い、実施をしています。

その市内の小中学校の実施状況が1ページにまとめてあります。

小学校については、1泊で行く学校が9校、日帰りで行うところが3校。中学校は、日帰りで行う学校が2校、中止とした学校が3校あります。

また、行き先としては、小学校は関西を計画している学校が2校、四国が3校、島根、鳥取方面が3校、県内が1校、そしてまだ未定の学校が3校あります。この未定の学校は、実施時期を3月に設定しているので、もう少し様子を見て決定するということです。中学校に関しては、2校とも県内での修学旅行を考えています。

今回の修学旅行については、キャンセル料については市で補償していただくということで、そのことも保護者に説明し、時期も再度検討しながら、また市が示した新型コロナウイルスのこの状況を踏まえた学校行事実施に向けたガイドラインに沿って検討し、このように今実施を考えているところです。

説明は以上です。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） それでは、お手元の資料の2ページを御覧ください。

それでは、社会教育課から(2)吉井郷土資料館改修工事について御報告をさせていただきます。

吉井郷土資料館の改修工事といたしまして、契約日は令和2年9月16日、②契約金額は2,063万8,200円、③契約相手は赤磐市馬屋593、大守建設株式会社様、④工期は令和2年9月16日から令和3年2月28日でございます。この改修工事に伴い、令和2年9月23日から令和3年3月31日までの間、臨時休館とさせていただきます。

続きまして、スポーツ振興課から(3)山陽ふれあい公園防災拠点整備工事についてでございます。

こちらの工事につきましては、令和2年6月議会で議決をいただき、契約を行い工事を進め

ておりますが、令和2年10月1日から令和3年1月31日まで施設の使用制限を設けて実施いたしておりますので御報告させていただきます。

以上で教育委員会の説明を終わります。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 令和2年度消防施設事業の進捗状況を報告させていただきます。

消防本部資料を御覧ください。

本年度は3つの補助事業を27地区からの申請に基づき整備をさせていただいております。

1ページ、2ページを御覧ください。

まず初めに、消防自動車補助事業でございます。

大屋地区の軽四積載車の購入事業と、八島田地区の普通積載車及び小型動力ポンプの購入事業を完了しております。大屋地区の納車は10月18日曜日、八島田地区は10月17日土曜日に納めさせていただきました。

続きまして、3ページを御覧ください。

消防機庫修繕事業でございます。

地区にあっては、上仁保地区で、令和2年7月2日に契約がなされ、7月28日から施工業者が工事に取りかかり、間口4メートル、奥行き7メートルの消防機庫が8月28日に完成しております。

続きまして、標準消防用機械器具整備事業でございます。

山陽6地区、熊山8地区、赤坂8地区、吉井5地区からの申請書が提出されております。合計253万9,944円でございます。消防ホースの納品が少し遅れておりますが、年内までには全ての地区に機械器具が配備できるように事業を進めてまいりたいと思います。

以上が事業の進捗状況でございます。

○委員長（佐藤 武君） 以上で執行部の説明が終わりましたので、委員から質疑がありましたらお願いします。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 総合政策部の資料の1ページ、このアンケートなんですけれども、赤磐循環バスの廃止に伴ったアンケートということで、山陽地区でアンケートを取られているんですけれども、桜が丘東地区ももろ影響が及んだ地区なんですけど、なぜ山陽地区だけにアンケートを取って、桜が丘東地区でアンケートを取らなかったのか、いかがでしょうか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 桜が丘東地区につきましては、熊山地域から市民バスが出ておる関係上、アンケートを取っていないという状況になっております。

以上です。

○委員（永徳省二君） もう1点いいですか。

○委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 同じく総合政策部の資料の10ページとかその他なんですけど、結構これアンケートを分析されて、すごいすばらしい資料だと、本当思います。この資料を、例えばですけども小売業者、マルナカさんとかゆめタウンさんとか、結構恐らくこれ、有効利用される資料になる可能性が僕はあるというふうに思うんですけども、開示される予定はあるのか、ないのか、お聞かせください。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） このアンケート調査につきましては、ホームページに公表をさせていただきます。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） さっきも同僚委員が言われて、東を何で入れなんなんならというのは、僕も何となく思うて。昔じゃったら行政区が山陽、熊山、赤坂、吉井と分かれとんじゃけど、今はもうネオポリスというたら一体的なようなもんで、東もすべきじゃなかったかなと思うて、回答は熊山の循環バスというて、分からんことはなかったんです、分かろうと思やあ。じゃけど、もう僕自身、合併してからずっと思うて、昔は行政区が熊山、山陽と分かれて、それの中でいきいき交流センターも両方の町でこしらえたということで、やっぱり一体的に捉えたほうが、今回の調査がどうこうじゃねんじゃけど、これからやっぱりそういうことも入れて捉えたほうが分かりやすくなるんじゃねえかなと思うて。市民バスというて、よう分かりよんです、言ようることも。分かるんじゃけど、ちょっと何か一体的にしたほうが、永徳委員言われたのが、ちょっとあったほうがええんかなと思うて、今後の調査のときにはやっぱり、それを加味していただきてえなと思うたんで。それで、たまたま東の方が、もうええよ、そりゃあせんでもというんじゃったらええんじゃけど、山陽団地だけやっとなんじゃたらまた山陽団地だけでええんじゃけど、こういう場合は入れたほうがええんじゃねえかなと思いましたが、そのことをどのように考えとるかというのが1点と。

もう1点、全体的なので、山陽地域のアンケートじゃったんじゃけど、ちょっとこれ、このことは大変、物すごくようやられとると思うんで、これも同僚委員が言ようた、インターネット



トに出すんじゃないと、これ見てもらって参考になるから、商売のことじゃけえ僕らがどうこう言うんじゃないじゃけど、今度は商売ですから、より一層こうすりゃあ来てもらえるんじゃないか、サービス向上につながるからええんじゃないかと思うとるんですけど。ただもう1点、これ、こういうこと言うたら話をめぐかも、ちょっと話が、委員長、それりゃあへんと思うんで、関連なんですけど、片鉄沿線で、吉井から和気へ行ったりしますよね、バスが。あれ、もう昔の片鉄沿線の関係でやとったから、柵原、吉井、佐伯、和気とかというんじゃないたら分かんことはねえ、備前市とかというたら、もうこれは統廃合もできたりして、結果的に僕はちょっと失礼なことを言う、乗とる方というか、数を大体見よったら、ほとんど赤磐のほうから、言うたら吉井ですわな、特に、吉井から乗とる利用者が少ないんですよ。塩田とか佐伯、和気町、和気の中を使ようことになるんで、もうこれ一遍、すぐやめえとかというんじゃないか、少ねえからやめえという話じゃねんじゃないけど、もったきめ細やかにするか何か、やり方を考えて、僕個人の考えですけど、また言ようたら叱られるかもしれないんですけど、この路線がもし行きようの方が少ないんじゃないたら、そこを和気町とよう協議して廃止して、そのお金については今言うた循環バスのほうへ、中を回るほうへ回すとか、それから吉井の場合じゃたらミニのほうのバスで動かすようなことをちょっと考えた方がええんじゃないか、今後どのように考えられるか、もし分かれば。今どうこうじゃなくて、できたら一生懸命市長もやってくれて、津山のほうの星のふる里バスでも行けて、本当に学生が喜んでますわ。じゃけえ、通学対策やこうと合わせるようなことになったらええんじゃないけど、どうもほとんど通学対策には合うてねえ、元根本は片鉄沿線じゃったんで通学対策もあつたんじゃないけど、ほとんど関係ねえような気がし出したんで、どのように考えとるか、もしお答えいただければ、考えがあつたら教えてください。なかつたら結構ですけど、要望じゃねえ、質問なんです。よろしくお願いします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 先ほど委員おっしゃられました赤磐・和気線につきましては、現在11月1日から和気町内でルート変更ということで、ルート変更の作業をさせていただいております。今御指摘いただきましたとおり、通学のほうに利用されている方というのは、赤磐の方では、例えばテスト週間であるとかそういう臨時的なときしか利用をしていただけてない状況でございます。対して、この和気線につきましては、和気町のほうからは、和気高のやはり利用範囲が少なくなる観点から、このバスを存続していただきたいという声も大きく上がっております。そういったことも踏まえまして、ですが、バスの利用者が少なくなっているのは現状でございますので、和気町と協議を進めまして、このバスの在り方については再度次の更新のときまでに検討をさせていただきたいというふうには思っております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ありがとうございます。

僕も和気のはやめえとか、関係ねえから、今永徳委員が言われたのが事実じゃと思うて。やっぱり今まで行きようたところがなくなるのはおえんから、片鉄も同じことです、例えばいうたら。じゃけど、やっぱり毎日使ようて、日常使ようところが少なくなってきたら、やっぱり何らかは考えにゃあ、予算上のこともあるんで、削減できるところは削減して、それから要るところへは集中的に回すべきじゃねえかなあという気持ちもあったんで、これすぐどうこうしてくれ、やめえと言うんじゃねんじゃけど、結果的に見たら、塩田というところすな、吉井の稲蒔、福田と並んどんですけど、備前大橋からの、あの間から和気へ行く人だけが使ようるのがほとんどじゃという取り方かな、今そう思うたんで。できたら、もし行かにゃあおえんのんじゃったら、そのときはミニのバスのほうでも、小型のでもちょっと考えりゃあ、そのほうが有意義じゃねえかなと今思うたりする。通学のことを言われりゃあ、言われることは分かるんじゃけど、ほとんど通学で使うとるというのも聞かんから、かえって津山とか行くほうをもっと重視してくれという話が出てきよんで、そういうお話も聞かせていただいたんで、今思ったわけです。今後、検討してみてください。やめえというんじゃありませんので、誤解のないように。

○委員長（佐藤 武君） 答弁はよろしいですか。

○委員（北川勝義君） よろしいです。

○委員長（佐藤 武君） ほかに。

下山委員。

○委員（下山哲司君） この修学旅行の件ですが、中学校は遠いからということでしたんか、するとことせんところがあるというのは、どういう考え方で受け取ったらええんでしょうか。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 中学校は3校が修学旅行を中止にしています。2校はそれぞれ行くことにしています。

今年度、コロナということを考えて、学校行事実施に向けたガイドラインというのを教育委員会から提示しています。授業時数の確保であるとか、また今後の休校を想定した上での授業時数をしっかり確保すること、また3密を避ける、それから様々な状況、研修先でコロナが発生したとか、行けなくなった子供の心のケアだとか、行事自体の教育的な目的、価値等を全部考えながら、それぞれの学校で判断して行うということで、今回しています。

特に、行かないと決めたこの3校については、まずは时期的に受験を考えると設定ができない、特に桜が丘中学校に関しては所帯の大きさを考えると、なかなかいい日取りが取れないということもあります。あと、受験勉強のための時間の確保ができないということ。赤坂中学

校、吉井中学校についても、特に受験ということを考えて、生徒、また保護者等の意見を聞きながら決定しています。

行くと決めたところは、十分な対策が取れるということ、それから修学旅行を平和学習ということで今まで計画していたんですけど、それに加えて子供たち、生徒が企画して、そこで何を自分たちの中学校最終の目的のためにこの宿泊を使うかということ十分に検討した結果、行くと決めたということで、行く学校と行かない学校がそれぞれの学校の状況に合わせて変わっているということです。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ということは、先生が決めた、教育委員会が決めたというんじゃないし、子供たちが自発的にこういうふうにということで決定したということ受け取るときゃあいいんですか。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 子供たちだけで決めているわけじゃありませんが、子供たちと十分話をして、意見を聞いて決めています。

○委員（下山哲司君） 結構です。

○委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 今の質問そのままなんです、続けてなんですけど、赤磐市としてなぜ統一しないのか理由をお聞かせください。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 家森課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 岡山市、倉敷市等では、もう統一して小学校、中学校も修学旅行は行かないと決めているところもあります。赤磐市の場合は、学校規模、それから地域の状況、まさに様々です。それから、行く時期もそれぞれ大きく違います。そこを考えると、学校の状況を優先して、学校の実態に合わせて行うということで、今回それぞれの学校長の判断で行っています。このように差がつくようになりました。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 総務部資料のラジオの件なんですけど、メーカー名を教えてください。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） ワキヤ技研でございます。新潟のほうの業者でございます。

○委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

ほかにありますか。

○委員（下山哲司君） もう1つ聞いてもいいか。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ラジオの、今説明、一番下の部分で米印があつてあれなんじゃけど、ちょっと文章的に理解し切れん部分があるんですけど、その辺をちょっと。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 今回御報告させていただいております、12月1日から12月15日までのこの期間で申込みの受付をします。こちらでは200台を先般購入しております。この200台が全てこの期間の申込みによって貸出しが全て出しまえれば以上終わりということになります。仮に、例えば100台はこの期間中に出たけれども、100台在庫が残った場合には、この期間以後に随時受付ということで、申込みによって101台目から200台目までは随時貸出しを行うと、こういうことでございます。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） これ以降は台数に制限はありませんというのがちょっと理解……。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 今回の12月1日から15日までの期間につきましては、台数が200台ということで限られております。隣の岡山市では今年度400台を用意したところ、販売の初日で即400台が完売してしまったという現状がございますので、もしお一人で数台ということがあつて行き渡らないということがあつてはいけませんので、この間は今回は1世帯1台ということで限らせていただきますが、在庫が生じるという状況になりましたら、お一家庭で2台、3台、複数持ちたいという方もおられるかも分かりませんので、在庫が生じる状況であれば台数の制限は設けなくてもいいかなということで、ここに、これ以降は制限はありませんということで記載をさせていただいております。

○委員長（佐藤 武君） 1世帯に対してですよ。

○くらし安全課長（岡本和典君） はい。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 最後に1つだけ。

要するに、ほんなら200を超えてまだ申込みがあれば用意をするという考え方で受け取っときゃいいんですか。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） ひとまず今年度に関しましては200台を購入させていただきましたので、200台を超える申込みがあれば200台までで、落選の方に関しては行き渡らないことがあるということでございます。

今御質問の、万が一200台を超える申込みがあって、なお必要であろうと、例えば追加が50台とか100台とか必要であろうという場合には、またこの委員会にも御相談をさせていただいて、補正予算等で対応を検討していきたいというふうに考えております。

○委員（下山哲司君） 分かりました。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） ほかに質疑がないようですので、事業の進捗については質疑を終了します。

続いて、2番目のその他に入ります。

委員さんもしくは執行部から何かありましたら発言をお願いします。

○税務課長（光田尚人君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 税務課長。

○税務課長（光田尚人君） それでは税務課から、市長の専決処分の報告について説明をさせていただきます。

税務課のその他の資料の、めくっていただきまして裏表の1ページ、2ページでございます。

こちらは、税務課の公用車が事故を起こしまして、御迷惑をおかけした相手の方への損害賠償額の決定と、示談をするために専決処分をさせていただきました。

事故の概要につきましては、令和2年3月7日（後刻訂正）の午後3時45分頃、桜が丘西7丁目24番3号先の市道、現場図面の場所でございます。方向変換をしようとして下がったところ、後方確認ができておらず下がり過ぎ、道路を越えて、後方にございました民家の縦どいに右側後部を接触させ、損傷、変形させたものでございます。

裏面に縦どいの写真を掲載させていただいております。

相手方は、家の持ち主の男性、過失割合は市が100%でございます。賠償金額は3万8000円で、壊れた縦どいの費用です。また、示談及び専決処分の日付は令和2年9月8日でございます。そして、令和2年12月定例会に上程し、報告の予定でございます。

事故後、御迷惑をおかけした相手の方におわびを申し上げますとともに、運転者、同乗者についてはしっかりと反省を促し、税務課で安全運転資料を作成し、課内全員で公用車の運転について日々の運転を反省し、今後の安全運転を徹底するよう確認いたしました。

申し訳ございません。私が事故の発生の日付を言い間違えたようでございます。

令和2年7月3日の金曜日3時45分頃でございます。

○委員長（佐藤 武君） 専決処分の事故の報告ですけれど、これについて何かありますか。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） その他でほかにありますか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 令和2年度秋季火災予防運動について説明をさせていただきます。

消防本部資料4ページを御覧ください。

11月9日月曜日から11月15日日曜日までの1週間、火災予防運動が実施されます。赤磐市消防本部でも、資料のとおり、期間の前後を含めまして28の行事を計画しております。

主な行事といたしましては、新型コロナウイルスにより多くの人が集まるイベントができないため、火災や救助の想定訓練風景を前撮りした動画をホームページ上で公開したり、テレビ会議システムを使用して動画と音声により、わざわざ現地に行かなくても署見学ができる、安全で安心な校外活動を実現するなど、アイデアも盛り込みました。また、いわなし幼稚園では、感染予防対策を十分に行った上での公開消防訓練を予定いたしております。各事業とも火災の撲滅を目的とし、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

以上、簡単ではございますが説明とさせていただきます。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

今の件で、何かありますか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 夕食時の夜間防火広報というのは、どういう方法でやるのか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 昼間不在の市民に対して、在宅する可能性の高い夕刻の広報で防火の意識を高揚してもらおうという目的でございます。

以上でございます。

○委員（下山哲司君） 方法は。

○消防総務課長（榎原秀幸君） 消防車による広報でございます。

○委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○委員（下山哲司君） その他、いいですか。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） いつもここへ通うてきょうたら思うんですけど、ふれあい公園の周りの松の木がずんずん紅葉して、今日も見たら、もう前の倍ぐらいになっとんじゃけど、そのうちに全部いってしまうんで、あれは全く手を出さずに放っとくんですかね。伐採して松くい防除対応をするとか、全然、赤くなってしもうたらあまりに醜いんで、紅葉ならきれいなけど、枯れとるやつは同じ紅葉でもきれいじゃないんで、何か寂しい感触を持つんですが。以前からちょっと気になってからいうたら、もう倍ぐらいになっとんで。どうにかする処置というのは、考えはないんですか。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 西崎課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（西崎雅彦君） すいません、私のほう、把握できておりませんので、現地を確認して検討させていただきます。

○委員長（佐藤 武君） ちなみに、松くい虫の防除対策というのはふれあい公園なんかは入ってませんよね。

○委員（下山哲司君） 周りじゃからな。

○委員長（佐藤 武君） 周りじゃからね。はい、すいません。

ほかになれば、以上をもちまして第9回総務文教常任委員会を閉会します。

大変お疲れさまでした。

午前10時43分 閉会